

取り上げられている視点 記入いただいた感想・要望等		実践事例の紹介・分析	授業設計・教材のデザイン	成ハイパーテキスト教材の作成	教材の発表・分析	プレゼンの作成・技法	演習中心であったこと	時間配分	グループでの共同作業	受講者同士の情報交換	現場の実態への対応・考慮	コンピュータ機器の道具化	講義・助言・進行
1	演習が主体でいい勉強になりました。プレゼンテーションの作成のポイントがよくわかりました。ありがとうございました。					+	+						
2	教科への応用ということで、私が最も期待していた内容です。様々なアドバイス、そして事例集、初体験のことも多く、大変ためになりました。今後これを地元を持ち帰り、発展させていきたいと思えます。ありがとうございました。ソフトが多様です。ワープロは太郎・ワード、表計算はエクセル、1・2・3、三四郎、学ぶことが多く大変です。	+											
3	多くの先生方のさまざまな考え方、技術を参考にすることができ、とても参考になりました。									+			
4	授業ですぐ使えるような教材作りができて良かった。ひとりではとても考えられないが、グループを組んで作業することにより、より良いものが作れた。紹介するときの事例として良いものを得ることができた。	+			+					+			
5	実際に毎日の授業の中で使っていくためには、多くの先生方の協力がなくとも多くの教材をそろえられない、ということがあがるが、ハイパーテキストは今後の授業の中で大きな位置を占めると思われるので、良い勉強になったし、多くの先生方との協力を進めていくことが、今後の大きな課題といえることもわかった。		+	+						-			-
6	できれば事前に、各教科の授業で工夫をしなればいけない分野の教材を、必ず1つ持参するようにと、強く指示を出した方がよいのではと思った。グループで作るのもよいが、それぞれに抱えている生徒の質、レベルが異なるので、個人個人で教材を作るというのもいいのではないかなと思った。その方が多くのアイデアを集められ、後の授業の参考になるのでは。												
7	生徒の実態がよくわかっていらっしやるので、なるほどなるほど...と、すべてが共感的に受け取ることができ、いい勉強ができたと思えました。理論ばかりで言われたら、何とも何とも...!!という感じ!											+	
8	盛りだくさんの内容であったが、他の先生方の教えをいただき、なんとか乗り越えられました。											+	
9	Power Pointの有用性がよくわかりましたが、できれば作成方法(操作方法)について簡単に実習説明等があればよかったです。						+						
10	演習時間を多くとっていただいたので、自分たちのグループで考えた教材ができてよかった。								+	+			
11	コンピュータ関連の基礎的な力が不足しているため、なんとか理解できる(しかし、わかっていないことにもどンドン気づいていく)という現状でした。ただ、いろいろな具体的な教材を目にしたことは非常に有意義であった。												+
12	実際の学習活動につながるような研修だったと思います。実際の現在の中学校の話などもありよかったです。ありがとうございました。												+
13	時間的にきびしかったです。それに事前の教材準備等もできていなかったのが難しかったです。まだ表計算ソフトやプレゼンテーションソフトの使い方も不十分ですので大変でした。												
14	現場で制作する難しさやハード面の問題など、困難な面が多い。この研修では、全ての環境が整った状態で何ができるか考えてきた。しかし現場ではそうはいかず、しかも要求や要望は多い。指導者研修で、実際活用されている例をいただき感謝しています。	+											-
15	ハイパーテキストを自由自在に作るには、ソフトの操作ができずに焦ることが多かった。教材をハイパーテキストにするのに「テーマ」を探すのに苦労した。今までコンピュータを用いた授業を実践したことがなかった。ただしOHPを使ったり、表(模造紙)を利用したり、小道具(輪ゴム等)を使って工夫したりしたことはある。パワーポイントとかいろいろなソフトの性格を知っていれば、授業に活用できる可能性は大いにあると思えました。												-
16	他のグループの作ったハイパーテキストを見て、いろいろ工夫ができるのではないかと勉強になりました。コンピュータの活用はまだ未知な部分もあり、利用を考えていきたいと思えます。ためになるいい研修です。												
17	講師お疲れさまでした。参加者の能力が幅があるので大変だったと思います。できれば作成時間をもう少しいただけたらと思うところです。考え方としては道具としてのコンピュータであるべきですが、なかなかスキルから抜けきれないところがありました。												+
18	周囲の状況の中、がんばって作らなくてはという雰囲気を実習面ではよかったのかと思います。講義・助言についても、タイムリーな感じで声をかけていただきましてよかったと思えます。お互いの技術を高めたり、他の考えを聞いて自分の内容とリンクさせることができたのが、この2日間として大切だったと思えます。												+
19	大変わかりやすい講義でした。特にプレゼンテーションをする上での心構えや、準備などはなるほどと納得するものでした。ありがとうございました。												+
20	先週学習したH・Pの作り方の発展編のようで、連続性があったよかった。ハイパーテキストで実際授業をしたことはないが、大変興味を持ちました。しかし、作成時間の関係でそんなに何度も使うわけにはいかない。そこで、このようなソフトの交換ができるような場(ネット上で)を教えて又は作成してほしい。												+

取り上げられている視点 記入いただいた感想・要望等		実践事例の紹介・分析	授業設計・教材のデザイン	成ハイパーテキスト教材の作成	教材の発表・分析	プレゼンの作成・技法	演習中心であったこと	時間配分	グループでの共同作業	受講者同士の情報交換	現場の実態への対応・考慮	コンピュータ機器の道具化	講義・助言・進行
19	手回ひまかけて作った自作教材は、とかく自己満足に陥りやすいので、評価、分析については情報教育に限らず、共通して考えていかなければならない注意点だったと思いながら聞かせていただいた。 教材作成については、苦勞もあったが、作り方を勉強させてもらい、また他グループの発想に驚かされたのは大きな収穫だった。ありがとうございました。		+	+	+					+			
20	自分だけで教材を作るのは大変かもしれないが、インターネットや他のマルチメディアの利用により、すばらしい教材ができると思った。			+	+								
21	教材作成やプレゼンテーションのしかた、授業設計等大変参考になりました。ありがとうございました。		+	+		+							
22	「教材」というものが、これまでより大きくとらえられるようになりました。授業を作るためのひとつの道具じゃなくて、方向性を決める存在であると思う。これまでの資料、ビデオ、OHPなどの良さを生かしながらも、コンピュータの特性を生かしたハイパーテキストも考案し、使うようにしていきたいと思った。どうもありがとうございました。		+	+	+								+
23	教材作成はハードでした。もし1人でやったらと思うとゾッとしました。人とのネットワークを作らないとつくづく思った次第です。							-	+	+			
24	研修後すぐに活用できるようにという配慮もあり、また、研修内容・研修の進め方にも具体性があり、先週の一部の研修とは異なり、私にとっては身近なものに感じられた。参加者個人個人のスキルに差があったため、今回のようなグループの活動は、私のように下位レベルのものにとっては有効であったように思われる。逆に、上位レベルの方にとっても、将来的に指導する側になれば、私のような下位レベルのものに根気強く教える必要はないので、そういう意味での研修にもなっていたかもしれない(と考えるのは、あまりに自分に都合のよい解釈かもしれない)。 2日間という短い時間でしたが、さまざまな提示をして下さいまして、大変参考になりました。どうもありがとうございました。	+								+		+	
25	授業(教材)設計というのは、高校ではほとんど行われていないプロセスで、毎度のことながら苦勞しました。もう少し自分の授業を見直さないと、教育の情報化どころではないと思います。 「チョーク1本で十分だ」という先生は、「パソコンの使えない先生」ではなく、自分の授業に哲学を持っており、「パソコンなど必要ない」という先生も多からうと思います。哲学のない授業には生徒はついてきません。ハイパーテキストで作る課題もそこの素材をただ集めて(楽でかつ便利ですが)くるよりも、魂を入れたものを作りたいと思いました。 長野県の講師(生物の方ですが)をやるときには、ハイパーテキスト教材の作成もやっていただこうと思います。		+	+									
26	実習が多く良かった。自分はパソコン機器等さほど詳しいわけではないので、他の情報に詳しい先生方のさまざまな作品を参考にさせてもらえてよかった。勤務校に帰ったら、早速実行したいと思う。				+		+			+			
27	「教材」に対しての捉え方について考えさせられました。今までの講義では、教科の中に情報教育の考え方(目標)を取り入れることが主であり、具体的に考えることが少なかっただけに、この2日間は大きな収穫があったと思います。 教材の発表に関しても、多くの新しい発想をお持ちの先生方の考え方に触れて、刺激を受けることができました。		+		+					+			
28	制作時間と発表時間を優先的に確保していただけてよかった。他の班の力作を味わえた。目標が分かりやすくスッキリしていた。宿題が大変だった。				+		+						+
29	概要の説明 演習 発表という過程は、充実した時間が過ごせました。とかく研修となると話が多くなり、気持ちが続かなくなるのが現状だと思います。いろいろな取り組み方を知ることができ、多くのアイデアが生かされ、また今後生かすことができるのでよかったと思います。	+			+		+						+
30	よく順序立てて説明されていて、話の内容も最新の教育内容情報でしたのでよかったです。日頃現場にいますと、日々の課題解決で追われて、今の教育の流れが分かりません。教材の意味、内容の作り上げ、提示等々のことが細かくよく理解でき、今後の授業に大木に参考になりました。またコンピュータと教育内容との関係を、自分のテーマの1つとして自分なりに取り組んでいきたいと思っています。		+			+					+		+
31	初日、最初の実践例分析が少し無理があったように感じました。CECの事例集自体、分析には向かない気がします。記載されている人の代表的な実践ではないようですし、あの本に書かれているだけの情報で評価するのは失礼ですし、的はずれになりそうです。	-											
32	「教材」を見る観点を意識するような研修でした。これはグループなりで教材作りの実習ができたからと思う。 構想はあってもなかなかコンピュータ操作(ソフトの操作)の未熟さゆえ、実現できない部分が悲しいところです。本当に良い経験をさせていただいたと思います。		+	-			+			+			
33	作成時間を十分与えていただきありがとうございました。発表に関しても、時間がゆったりしていましたのでよく理解できました。 できたらすべてのグループの教材発表を見たかった。2日間の進行は無理のないものでした。				+				+				

取り上げられている視点 記入いただいた感想・要望等		実践事例の紹介・分析	授業設計・教材のデザイン	成 ハイパーテキスト教材の作成	教材の発表・分析	プレゼンの作成・技法	演習中心であったこと	時間配分	グループでの共同作業	受講者同士の情報交換	現場の実態への対応・考慮	コンピュータ機器の道具化	講義・助言・進行
34	教材を作成するという課題に、普通であつたら半年くらいかかる内容を1晩で作ってしまうというのが、はじめどこまでできるかなと思いましたが、ここまでできてしまうんだという歯ごたえを得た(予想以上のことができた)。また今回の研修で人のネットワーク化が大切だなと思い、それを活用することで、授業のヒントや教材の作成も可能であると思いました。			+						+			
35	私にとっては非常に大変な研修でした。コンピュータを利用するための情報収集(ホームページ検索等)に大変な時間がかかりました。まず回線の容量を大きくしてほしい。			-									-
36	実際に授業に導入していく上でのいろいろな注意点が分かりました。また、いろいろな授業のアイデアも参考になりました。ありがとうございました。個人的ですが、「1時間のために1ヶ月以上準備するコンピュータ利用」をやったら、以前のC A Iと同じ運命をたどるのではないかと、他の先生もコンピュータ利用に協力的でなくなるのが現実ではないかと考えています。「気軽に簡単に」作れる教材がたくさんほしいと思います。	+	+	-									
37	作成の時間がどうしても少ないこと。発表はいい勉強になったので、進行がスムーズになる段取りづくりがしっかりしていれば全部が見れると思う。漫画の著作権についてのご指導ありがとうございました。					+							-
38	おかげさまで非常に内容をしぼったものであれば、ハイパーテキストが作れそうです。ありがとうございました。時間の確保も十分にいただきました					+		+					
39	教材作成、プレゼンなどの項目について、分かりやすく整理しながら学習できました。ありがとうございました。日常の教育活動に自然とコンピュータをとり込ませていきたいと思ひます。			+		+							+
40	演習は作成が中心だったので楽しくできました。できましたら作成途中での講義は考えていただきたく存じます。2日間どうもありがとうございました。教材作りは楽しみです、また他の方々の作品を見せていただくことが参考になってよかったと思ひます。			+	+		+						-
41	教材作成に時間をとりすぎ? 教材を作ることが主ではないと思うのでもう少し先生のお話をお聞きしたかったです(プレゼンとか)。ひとつひとつのことにコメントをていねいに話されていたのが印象的でした。お世話になりました。演習の時間をとりすぎると凝り出してよけいまとまりません(私はできないので時間があって助かりましたが...)							-	-				+
42	現場の教員の立場でのお話をうかがって、目からうろこの落ちた思いをしています。リーダーの先輩として、今後もアドバイスをお願いします。											+	+
43	正直に時間がほしい。コンピュータの操作能力が低かったので、なかなか考えたところまで作業が進まない。試行錯誤の連続でした。でも、今回の実習を通して、作業の見通しの持ち方、共同作業の進め方。		+						-	+			
44	これから使える教材?作成ということで、楽しくできたと思ひます。また、いろいろなグループやこれまでの作成した教材や事例が見られたので大変参考になりました。これまでの研修を含めて、いろいろなものを作成したりするのは、講義だけの研修よりいいのですが、時間内に終了できる内容、または時間の設定をしてほしい。特に、自宅を離れ研修にきていると、使いたいものや資料がないので苦勞します。また、夜はゆっくり1日の疲れをとりたい。課題が出ると気が休まらない。			+			+		-	+			
45	今回の教材作成において、実現できなかったアイデアもいくつかありました。ぜひ、夏休み等を使って完成させたいと思ひます。2日間どうもありがとうございました。			+									
46	研修がしんどいのはしかたのないことでしょう(それにしてもしんどいけれど)。ただ、何度考えても数学でハイパーテキスト教材を作るのはつらい。コンピュータなど使わない、とは言わないが、教材の提示方法としてのハイパーテキストは数学には向かないと考える。そこが最もつらかった。でも、いろいろな勉強になりました。たくさんデータもいただいだけそうです。2日間、どうもありがとうございました。			-	+								
47	市川先生のお話も、私たちと近い立場からのもので心にとっに入って来る良さがあつた。先生の私たちを見守る温かいまなざしが大変印象的であつた。内容的にも力作揃いで大変勉強になり、また大きな刺激になりました。					+							+
48	いまや、ソフトは教材ではなくコンピュータと同じ道具であるということには、時代の急流を改めて感じさせられた。それゆえ、これからの教材作成にはますます重要度が増してくると思われる。先週1週間の講義等では、授業ではコンピュータ等の機器を必ずしも利用しなくてもよいということをお教えられたと思ひます。しかし、この2日間は、道具として積極的に使うための研修であり、頭の切り替えが難しく感じました。機器の利用は、効率化、時間の短縮等で、使う方にとって恩恵をもたらしてくれるものだと思います。その分を、生徒理解、生徒とともに活動する時間に割きたいと思ひますが、ますますそれらの時間がなくなっていくように感じます。		+										+

+ の数 : 5 12 13 15 7 7 3 8 9 5 5 9
- の数 : 1 0 5 0 1 1 7 1 0 0 3 3